

地域サッカークラブに通う子供の保護者期待感と満足感  
—スポーツ少年団とクラブチームとの比較から—  
田代 直輝 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 佐藤 馨

キーワード：満足感，期待感，保護者，スポーツクラブ，子ども

1. 緒言

現代は子供の運動能力，体力面で保護者の幼少期より著しく低下している事が問題視されている。文部科学省の調査によると，子どもの体力・運動能力は1985年ごろから低下している。理由として子どもたちの多忙化や，保護者の意識の中で，外遊びや体を動かす重要性の意識が極端に薄れていることからスポーツを通わせようとしにくい傾向があるのではないか。そのような保護者がいる反面，スポーツクラブに通っている保護者の心境として，どのような期待と満足感を抱いているのだろうか。そこで本研究は，一つの小学校で結成されているサッカークラブと，県内から優秀なメンバーから結成されているサッカークラブとでは，保護者はどのような期待感，満足感を抱き，どのような考え方をしているのか明らかにすることを目的とした。

2. 研究方法

1) 調査対象者

滋賀県守山市のサッカースポーツクラブの保護者40人と滋賀県大津市瀬田のサッカークラブの保護者40人に調査を実施。

2) 調査時期・調査方法

2013年9月15日～19日に調査票を配布。直接練習場所に足を運び，アンケート用紙を子供に配り，帰宅後保護者に渡してもらい，翌日回収した。

3. 結果・考察

1) 保護者がスポーツを通して子どもに期待している回答は，「体力や運動能力をつけさせたい」は守山が97.5%で瀬田が100%，「協調性を身につけてほしい」

は守山が100%で瀬田が95%，「時間や社会のルールを身につけてほしい」は守山が100%で瀬田が92.5%であった。両チームの保護者とも体力面より社会面に対する期待が多かった。

2) 保護者のスポーツクラブに対する満足度では「費用」は守山が75%，瀬田が55%，「練習頻度」は守山が57.5%で瀬田が72.5%，「練習時間」は守山が62.5%で瀬田が70%であった。両チームの保護者とも練習に関する「頻度」や「時間」に満足しているが，設備などの環境面は満足していないことが分かった。

3) 保護者に「なぜスポーツクラブに通わせようと思ったのか」という問いで，「子どもがやりたいと言ったから」は守山が77.5%，瀬田は80.0%となり，どちらのクラブも「子どもがやりたいと言ったから」という答えが一番多く，子どもの意思を尊重していることが分かる。

4. まとめ

両チームの保護者とも運動面の期待よりも社会面の期待のほうが高かった。満足度では，約半数の保護者が環境面に対して満足していないことが分かった。また保護者は様々な面で，子どもの意思を尊重していることが明らかになった。

引用参考文献

金子勝司・東野充成・村田敦郎：「スポーツと子供の発達に関する研究 —子供向け地域スポーツに対する親の期待感と効用感—」。『共栄学園短期大学研究紀要』2008 24, 91-438.

